

館の運営方針	生涯にわたる学習活動の基礎となる時期に、学校や家庭・地域と連携して事業展開を図り、様々な体験活動を通じて社会性を養う場を提供する。
ジャンルの目標	
<p>学校・家庭・地域が、それぞれの教育機能を果たすとともに、相互に連携・融合してその充実を図る。生活体験・社会体験・自然体験等の機会を子どもたちに提供し、自ら学び、自ら考え、問題を解決する力や、人と協調し、人を思いやる心など「生きる力」を育成し、豊かな人間性を育む。ボランティア活動の推進、青少年団体活動の推進、異世代間の交流をさらに推し進め、青少年の健全育成に努める。</p>	

☆個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	通学合宿	親元を離れて、共同生活体験をしながら、通学する。
②	体験・ものづくり おもしろ科学実験隊	実験を通して、やる気や創造力を育む。
③	体験・ものづくり 勾玉作りに挑戦!	縄文時代の生活や土器についての説明と勾玉の製作
④	体験・ものづくり 子ども水彩画教室	水彩画について学び、子どもの創造力を育む。
⑤	体験・ものづくり 夏休み子ども版画教室	版画の技法をプロの刷り師に学ぶ。
⑥	クリスマスコンサート	地域で活動している吹奏楽団によるコンサート
⑦	映画鑑賞会 夏休み子ども映画会	映像教材を通して青少年の心の健全育成を図る。
⑧	佐倉っ子塾 共通講座Ⅰ(環境講座)水辺観察会	印旛沼などの水質を調べ、環境について学ぶ。
⑨	佐倉っ子塾 共通講座Ⅱ(創造力養成講座)車両基地へ行こう!	地域の参議院や文化など体験を含めて学習し、子どもの創造力や研究心を育む。今年は、京成電鉄京吾車両基地を見学した。
⑩		

☆ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般		
企画	企画段階での課題と解決策	<b>A</b> A:各個別事業の想定課題は正しかった。 B:各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C:個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i:途中で変更した。 ii:そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	<b>B</b> A:各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B:各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C:各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i:別の方向に進めた。 ii:そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策	事業の実施時期については、常に近隣の学校や地域の行事を把握し、日程を設定する。より多くの方々に参加していただくために、事業の内容・実施時期・期間、周知の方法、応募方法等について、再検討し、改善していく必要がある。
改善	次年度への課題と展望策	<b>B</b> A:事業拡大。 B:現状規模での継続。 C:事業縮小。 D:目的達成により終了。 E:統合・改善・その他 ( )

総合評価		
<b>B</b>	事業規模	A:適切で成果が得られている。 B:課題あり、成果が得られている。 C:課題あり、成果があまりない。 D:成果が得られていない。 E:現段階では判断できない。
	成果	青少年の社会教育活動への参加意識の向上及び地域の教育力の向上に寄与した。青少年の学習意欲を高め、地域の社会教育活動推進のため、将来の担い手となってもらう一助となった。
	課題	公民館を利用する児童生徒・学生等若者が減少している中で、住民のニーズと地域の課題を踏まえつつ、青少年が興味を引く事業を企画・開催し、参加者を増やす工夫が必要である。

☆公民館運営審議委員意見

委員	
総合評価	<b>A</b>

委員	
総合評価	<b>A</b>

委員		多くの事業を設定し、参加人数も多く成果が上がっている様子が伝わってくる。特に、通学合宿で、中高生のボランティアを募集している点は素晴らしい。公民館事業の空白年代に、ボランティアという形で参加してもらうことは、大変意義のあることと思う。
総合評価	A	

委員		子どもの数が比較的多い根郷地区。親子対象や児童対象の事業は、子ども達にも興味あるものとなっていると思う。
総合評価	A	

委員		どこの地域でも子ども同士で遊んでいる姿が見られなくなっている。ものづくりや数々の体験を通して、異年齢の子ども達が自由に集まり学ぶ機会を提供できたこと。実施時期も事業に合わせて考慮されているので参加しやすい。素晴らしい事業が多い。事業として成果が得られている。
総合評価	A	

委員		生活体験、社会体験、自然体験の場の提案ということから、多様な講座が提供されています。集団生活、学校教育だけでは得られない科学実験・創作活動・映画鑑賞・自然観察・社会探検等が、極めて多様で、良質な事業として実施されています。 講師には、地域人材、サークルの積極的な活用が図られ、公民館活動が地域活動として根付いていることが窺えます。一方で、専門家の招請による事業に見られるように、通常の教育課程では体験することができない版画の刷り師等「本物に触れる」機会も提供され、より質の高い事業を提供しようとする意欲も感じます。継続実施されている事業もあり、リピーターも多いことから、事業が地域ニーズに適合し、確実に定着していることの証とも言えます。 クリスマスコンサートの評価が「オールB」となっていますが、生演奏で音楽の楽しさを伝えたい、音楽を通じて地域交流を図りたいという意図は素敵だと思います。取り組みとしての評価は「A」です。 『クリスマス』というのは集客のための冠であると思いますが、クリスマスに止めずに、地域の音楽愛好家の協力を得ながら、より充実した音楽との触れ合いの場づくりを目指して頂きたいと思います。聴く側としての場の提供だけではなく、地域演奏家の発表の場ともなっていけば、また新しい創作活動が展望できるような気もします。以前、ギター講座があったように記憶していますが、地域の歌づくり、コンサートなどへと発展していくような音楽講座があると素敵だと思います。音楽を、もっと活動としてとらえてもよいのではないのでしょうか。 いずれにしても、どの事業も公民館活動と青少年をつなぐ素材として十分な機能を発揮していると感じています。
総合評価	A	

委員		週5日制の学校教育や家庭生活が当たり前の今日、フリーとなった青少年の時間の使い方を考えると、家庭や地域、公民館等の施設でいろいろ方法はとられていると思いますが、その中でも、親や先生から離れた場所(公民館)での事業が多く計画、実行されていて地域的にみてもうらやましく感じました。評価シートⅡで効率性にBが多くありますが、公民館事業としての意義はとてもあると思います。
総合評価	A	

委員		「体験・ものづくり」事業は、学校・家庭・地域が一体となって青少年の育成のため、おもしろ科学実験隊等の各種講座を開催し、実績を上げているので、引き続き期待します。
総合評価	A	

委員		地域の人材を発掘し、子どもに体験してもらう体験学習は、多くの参加者が望めるような、魅力のある内容を今後も分析してほしい。
総合評価	A	

委員		多くの事業内容を実施されており、それぞれ成果が上がっていると見受けられます。 また、事業を実施するには、地域住民の協力が不可欠で、今後も十分に連携しながら進めてもらいたい。
総合評価	A	

委員		クリスマスコンサートは、「B」評価でした。 推測しますと、施設が音楽向けに出来ていないのかもしれませんが。 予算の許す限り改築して、継続実施してください。 良い音を聴かせてください。
総合評価	A	

委員		住民ニーズをくみ上げつつ、地域の資源を有機的に結びつけた多種多様な事業を、子ども達に提供し、多様さにゆとりが感じられる。興味から実践、そこから創造性が引き出される。 体験・ものづくりと佐倉っ子塾のねらいは確かだが、より多くの若い人たちに公民館を利用してもらうためには、果敢なPR活動、魅力ある事業の模索が望まれる。 映画鑑賞会、クリスマスコンサートのような催しは、市民と公民館をつなぐ絶好の機会と思う。
総合評価	B	

委員		実施されている青少年事業は、9事業と多いが、多様にわたっており、各事業がどの目標を意識して行われているか、残念ながら良くわからない。 目標を単純化するか、少なくして、的を絞りをやすくしてほしいと思います。 事業内容は、通学合宿、体験・ものづくり、佐倉っ子塾等 豊富な内容で、色々なアイデアも含まれており、それなりの成果を上げているように思います。
総合評価	B	

委員		青少年教育に取り組んでいる公民館の努力は、十分伺え、事業内容も変化に富んで充実したものである。 長年にわたる事業実績もあるので、課題に対してもいろいろなアイデア・工夫で乗り越えていかれることを期待しています。 ただ、青少年に関するこの種の事業は、当事者たちの希望や意見は勿論であるが、保護者や学校(先生)側の要望や意見も、十分反映したものでなければならないと思います。 今後もそうした要望や意見にも十分配慮しながら、発展的に事業を継続していただきたい。
総合評価	A	

委員		6事業のうち4事業が地域対象事業だが、概ね定員に達していることから、関係者の努力がうかがえる。 一般的に高齢者を対象にした事業が多いが、時代の流れであり青少年教育を実施する難しさもある。 通学合宿は、地域と一体となった取り組みであり、高い評価に値する。 複数の小学校を対象にしていることは、子ども達の知識や視野を広げることにもなる良い方法だ。
総合評価	A	